

令和5年度 地域づくり団体活動支援事業実績(都道府県協議会)

NO	団体名	講師氏名	講師職名等	テーマ	実施日
1	群馬県地域づくり協議会	長田 英史	NPO法人れんげ舎 代表理事	地域づくりに必要な『場づくりのコツ』 ～万能な居場所は存在しない～	令和5年8月1日(火)
	講演内容			研修成果	
「場づくり」について講演いただきました。「場づくり」は、様々な場面で使われる言葉ですが、「場」と「場所」は違うこと。場所は建物や施設など地図で示せる地点。場は主に人のつながり方が生み出す雰囲気や可能性であること。「場」にも、自分がやりたいのか、人の影響でつけられるのか場合によって変わってくる。活動の「場」はいわば2階建て構造で、活動をするうえで大切なのは、1階部分である運営の場(準備と振り返り)。しっかり話し合いをしていないと2階の活動の場は崩れてしまう。活動を豊かにするには、1階部分の運営の場がとて大事なことであることを教えていただきました。			「大事単一」の場で全てを担わず、選択可能な多様な場をつくる。「人間関係がいかにか大事か再認識しました。」「やってる人が楽しいことがやはり大切」などの意見が寄せられました。また、「活動をするうえで大切なのは、2階ではなく1階部分である運営の場。」「印象的だったという方が多く、活動の本質を改めて考え、今後の展望についての大きな学びの場になったのではないかと思います。トークセッションでは、やりたいと思って活動していたものが、いつのまにか地域づくりになっていという団体が多く、気負わずにやってみようという声もいただき、新たな場づくり。地域づくりにつながったのではないかと思います。		
NO	団体名	講師氏名	講師職名等	テーマ	実施日
2	石川地域づくり協会	①森山 美奈 ②谷内 博史 ③土屋 望生 ④山田 真名美 ⑤尾野 寛明	①株式会社御祓川株式会社 代表取締役 ②NPO法人NPO政策研究所 理事 ③株式会社日添 取締役 ④公益財団法人 あるくめ ⑤有限会社エコカレッジ 代表取締役	いしかわ地域づくり塾	令和5年8月19日 (土)、9月9日(土)、10月7日(土)、11月18日(土)
	講演内容			研修成果	
令和5年度のいしかわ地域づくり塾は、令和5年7月8日に無料の受講相談会を、8月19日から11月18日に本講座を開講し、受講生が自らの地域で今後取り組みたいことを「マイプラン」としてまとめ上げる「わがまちプランコース」を開催した。講座は前半にゲスト講師の講義、後半に年間受講者による演習(ゲスト講師もアドバイザーとして参加)で構成した。このうち、ゲスト講師の講義は年間受講者以外の聴講も可とし、地域づくりの第一人者から直接知見を得て、意見交換できる機会をより多くの地域づくり関係者が得られるようにした。今回成り申請した講座における講義の概要は次のとおり。 【8/19: 森山美奈氏】 ○テーマ: 地域づくりの哲学・技術・実践 地域づくりに取り組むたい方へ、地域づくりの現状について、各種社会モデル等を参考に講義いただいた。 【8/19: 谷内博史氏】 対話と協働からはじまる地域づくり ○テーマ: 地域づくりに取り組むたい方へ、地域との対話やコミュニケーションのあり方等について講義いただいた。 【9/9: 土屋望生氏】 ○テーマ: 小規模地域の大きな挑戦・旅するジモト 地域の人と一緒に考えながら活動することで、地域にある価値を引き出すことについて講義いただいた。 【10/7: 山田真名美氏】 ○テーマ: 好奇心の延長線上にあるまちづくり 地域おこし協力隊やコミュニティ財団での活動を通じた、地域における活動の実践例について講義いただいた。 【11/18: 尾野寛明氏】 ○テーマ: 描けば動ける! 週末ヒーロー 普通の人でもできる、自分がやりたいこととプランのつなげ方 やプランの実践の仕方を、実際の事例を交えて講義いただいた。			参加者アンケートでは、回答のあった方の大半から「満足した」「やや満足した」との回答があった。また個別コメントでは例えば「地域づくりに哲学があり、技術があるのであり、発見と学びになりました。(8/19) ・具体的な人間関係の構築の方法や技術を学びましたので、手段の1つとして地域でのより良い人間関係構築を目的として頑張ります。(8/19) ・地域づくりの根本には規模や場所に関わらず一緒である。(9/9) ・まちづくり会社型の視点を持つことの大切さを知った。(10/7) ・自分が行きたいことを言葉にすることの大切さを知った。(11/18) といった感想など、多くの参加者が講座で得た気づきを回答しており、参加者が地域づくりを進めていくにあたり、ゲスト講師の講義がプラスになったものと思われる。また、講義に加え、個別相談会を開催し、専任講師から受講者: 3名への対話やプラン実習への指導も行っていただき、地域づくりの第1人者から直接指導を受けたことで、年間受講者が作成するマイプランの課題解決につながった。最終的に、年間受講者10名が講座を修了した。		
NO	団体名	講師氏名	講師職名等	テーマ	実施日
3	愛媛県ふるさとづくりネットワーク推進会議	①藻谷 ゆかり ②笠松 浩樹 ③辻本 京子 ④木村 俊介 ⑤森 祐之	①巴創業塾 主宰 ②愛媛大学社会創学部 准教授 ③企業組合遊子川ザ・リコピンズ代表理事 ④まるごと緑 会長 ⑤ゲストハウススカイタク舎 オーナー	第2回えひめ地域活力創造フォーラム 『一流の田舎ってなんだ? ～過疎地域の明るい未来を考える～』	令和5年12月2日(土)
	講演内容			研修成果	
第2回えひめ地域活力創造フォーラムを開催。『山奥ビジネス 一流の田舎を創造する』著者である藻谷ゆかり氏を講師として招聘し、条件不利地域 や過疎地域での地域資源を活用した地域活性化についての講演や事例紹介を行った。また、実際に愛媛県内で、地域資源を活用した地域 活性化を行っている事業者をパネリストとして招聘し、好事例の情報発信や、参加者との意見交換を行うことで、地域づくりに取り組む参加者同士のネットワークづくりや、情報交換の場を提供した。			フォーラム開催後に参加者アンケートを実施。(アンケート回答数24。)第1部の基調講演の満足度は、5点満点中4.3点、第2部のパネルディスカッションの満足度は、5点 満点中4.7点となっており、参加者の満足度が非常に高い結果となった。(参加者アンケートより抜粋) 【第1部】 ・地域で稼ぎ、地域で循環させていく地域づくりが 一流の田舎への一歩と感じました。 ・ヒントになることが多数あったので、今後の地域 づくりに力を入れたい ・田舎だからといって悲観することはないと思った。 ・地元を離れ、違う場所へ住むとその土地の良さや 住みづらさなど違った視点で見えるようになりました。今、過ごしている地域もそういう視点で見えるように、・常にまっさらな心で見つめなおしたいなと思います。 【第2部】 ・一歩を踏み出して地域の課題解決に向けて努力し 続けている姿に感服しました。 ・みなさんの活気に圧倒されて、自分もこんな人 になりたいと思いました。 ・納得できる話が多く、楽しく聞かせていただきました。		